

いたゞかれたことがある。非常に喜んで私にお話なさったのでどんなお人形かとお伺いしたら、袴かみしもを着けた福助と、うちかけを着たお多福の一对だとのことであつたので、それなら数年前私共の店で服装に苦心して謹製してお納めしたお人形です、と云つたら「それはうれしい」と、先生は一しおのお喜び方であつた。そののち、私は、先生のお宅へ伺つて、「二度と会えまい」と思つていた、福助お多福御夫妻に面会出来て、これも実にうれしかった。

◇  
先生は、実は日本人形のためにかくれた功績者でもあられる。

それは、一今日、日展の第四部に人形が毎回出陳されているが、この実現運動をした主力の一つ、童宝美術院という団体に先生は同人であられた。昭和十一年、時の文展にはじめて人形が進出したのだが、人形が芸術品として確認され、人形師が芸術家の仲間入りをしたのも、この時からである。

このことは、あまり御存じの向きがすくないのではあるまいか。

以上、思い出すまゝを拙文で述べたが――、私は、先生の御逝去の報を聴いた時、不思議とすゞ浮んだことがある。それは先生は、下町でお育ちになつたのだが、両国の川開きというものをもまだゆつくり見る機会がなかつた……と、いつか話されたので、ちょうど、私の家が両国に近いので、そのうち一度御覧において願ひましよう、と、お約束したが、間もなく御病臥されて、その機を失つてしまつたことであつた。

ことしも、川開きが近づいた。

先生が、あの童顔で花火を見上るお顔が見たかつた。

ことしは、せめて奥様を御招待しよう。

## 倉橋先生の

## 御死去を惜しむ

高崎能樹

倉橋先生は学者ではなかつた……と云う人もある。――世界

の諸学者たちの学説を羅列して、辞典の代りを勤めている人が学者なら、倉橋先生は学者ではなかったとも言える。また世界の諸学者の主張を借着して、自説を權威着けることに汲々としている学者のことを思うと、倉橋先生は全くその類ではなかったとはつきり言える。

倉橋先生は、幼児教育のために全心全霊を打ちこんで、その啓蒙運動に、法制化に、教育原理の確立に、後輩の教養訓練に立派に開拓者としての任務を果たしたばかりでなく、『太陽の如くに照り輝いて』幼稚園をも保育園をも、またその仕事に従事する人々をも、等しく『育ての心』に徹するように導いて下さった。そして感激とよろこびの満ちあふるる仕事にして下さった。

倉橋先生は、理屈はあとまわしにして、先ず大人にも子供にも「こころ」を育てることに大きな成功をおさめられた。頭から頭への教育ではなく、ハートからハートへの教育で立派な「ひととなり」を養うことに大きな実績をあげられた。

人格よく人格をつくる……と云う言葉の通り倉橋先生の人格が、多くの活ける人格を作ったことは云うまでもない。倉橋先生は『先生！』と呼びかける際に、不思議に父を感じ母を感ず

るような親愛の情が持てた。けれども端正な容姿に接すると人間の甘さを越えた尊敬心が深くなった。……倉橋先生こそは『全人的な教育家』であったと云ってよいであろう。

倉橋先生のこうした人柄も、それから又教育精神も、キリストの精神から湧き出していることを私は認める。先生はキリスト教を看板にはせられなかった。けれども先生が若き日に得られた信仰経験が、ずっと後々までも先生の思想と生活の根源となっていたことを認めて、私はそれをこそ尊く思う。

キリストは学者ではなかった。けれども二千年を通して多くの聖者を——大人物を——大人格者を——世にいだす原動力となった。またすべての人々を幸福にし、罪と穢れから救い出す力の源にもなった。

人間の発達力には限度がある。神の育成力には限度がない。有限が無限を欲求して日々新たに発達しゆく生命の道を、倉橋先生は理解しておられた。それだから先生は、最も謙遜な幼児の心に徹して、保育道に生命をかけられたのである。

私は日本の保育界に、先生がおられなくなったことを——明星がかくれたように——淋しく思う。

(東京・阿佐谷幼稚園長)